

開東閣(かいとうかく)はもと岩崎家の別邸で東京都港区の高輪台地東端に位置します。明治22年(1889)岩崎久弥が、我が国初代首相伊藤博文の邸宅地だったこの地を購入し、同33年岩崎弥之助が譲り受け、駿河台の本邸から和風邸宅と釈迦堂を移築のうえ、現在の洋館を新築し、明治41年ほぼ完成しました。弥之助が最晩年を過ごした後、岩崎小弥太は昭和13年に当時の三菱社に、賓客の接待と社友の交歓の場として提供しました。太平洋戦争中の空襲の却火は開東閣にもおよび、多くの貴重な建築が焼失してしまいましたが、三菱グループ各社協力の下戦災で内部の大部分を焼失した洋館の修復が進められ、外観の原型は残したまま、内部の改装を経て現在に至っています。

現在は三菱系28社で開東閣委員会を設け、維持管理にあたっております。尚、本施設は非公開としております。

▶ [会員専用ページ](#)